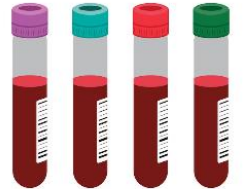


採血を受けられる患者さんへのお願い

- ◆ 採血とは、検査のために血液を採取する医療行為です。採血は基本的には安全性の高い手技ですが、まれに合併症（偶発症）が起きることがあります。このため、採血の担当者は国家資格を有する臨床検査技師、看護師、医師であり、十分な知識・技術に基づいて採血を実施しています。
- ◆ 採血は、病気の診断や病状の把握を行うために行います。採血は医師が採血によって得られる情報が、採血を行う危険性より重要であると判断した場合に実施しています。
- ◆ 採血を、「安全に」「間違いなく」行うため、以下のことに、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

1.ご本人確認

- ・受付後にお渡しする整理券の番号でお呼びします。
- ・採血ブースに着席後、採血者にご自身のフルネーム・生年月日をお知らせください。



2.採血前

下記に該当する患者さんは、あらかじめスタッフにお申し出ください。

- ・消毒用アルコールや手袋（合成ゴム・ポリ塩化ビニル）でかぶれたことがある
- ・血液を固まりにくくするお薬（ワーファリン・アスピリンなど）を内服している
- ・採血時に気分が悪くなったり冷や汗が出たり、気を失ったことがある
- ・採血部位にご希望がある
- ・血液透析中である（シャントのある方）
- ・乳房切除術を受けたことがある（左右をお知らせください）
- ・うちみが残しやすい
- ・その他採血に関して、ご希望ご不安な点がある



3.採血時

- ・採血部を消毒し、駆血帯を巻いて静脈内に針を刺します
- ・針を刺した場所の瞬時の「チクッ」とした痛みとは別に、手の指先に痛みやしびれ感などが走ったり、我慢できないような痛みを感じた時はお申し出ください
- ・血管の状態によっては、採血の針が目的とする静脈に入らない場合や1回の採血で検査に必要な量の血液が採取できない場合があります。その場合には採血部位を変えて再度採血をさせていただきます。
- ・採血終了後、駆血帯を外してから針を抜きます

4.採血後

- ・採血部位を少なくとも5分間、しっかりと押さえてください
- ・血液を固まりにくくするお薬を内服している患者さんは、さらに長めに（10分間）しっかりと圧迫止血していただく必要があります
- ・止血が止まらないときはお申し出ください



5.採血に伴う合併症

採血に伴う合併症については裏面をご覧ください（採血室にも掲示しています）

採血に伴う合併症について

・採血は基本的には安全性の高い手技ですが、合併症（偶発症）が起きることがあり、まれに合併症に対する治療が必要になることもあります。

・これらの合併症が生じた場合には、最善の処置を行います。その際の医療行為は通常の保険診療となり、費用のご負担が生じます。

1.血管迷走神経反射

・針を刺す前後に急激に血圧が下がり（血の気が引く）、冷や汗、めまい、気分不快や失神などを引き起こすことがあります。0.01～1%の頻度で起こり、緊張や不安が強いと起こりやすいといわれています。

➡ 万一、このような症状が生じた際はすぐに採血者あるいは近くのスタッフにお知らせください。
声が出せない状態の場合は手を挙げるなどのジェスチャーでお知らせください

2.アレルギー

・消毒薬やスタッフの手袋などでかゆみ、発疹をはじめとするアレルギー症状が出現する場合があります。

➡ 消毒用アルコールや手袋（合成ゴム・ポリ塩化ビニル）でかぶれたことがある、場合はお申し出ください

3.皮下血種・止血困難

・採血後、採血部位に青あざ（皮下出血）ができる場合があります。ほとんどが一週間ほどで消失します。

・刺した針で血管が傷ついてしまうことで起こります。また針を抜いた後の不十分な止血操作も原因となります。十分な圧迫止血をしていただきますようお願いいたします。血液を固まりにくくするお薬（抗凝固薬・抗血小板薬；ワーファリン、アスピリンなど）を服用されている方は特に十分な時間（10分程度）の圧迫をお願いいたします。

➡ 出血が止まらないときはお申し出ください

4.神経損傷

・採血後に手指へ広がる痛み、しびれ、麻痺などが生じ、一定時間が経過した後も持続する場合があります。約1万～10万回の採血に1回の頻度で起こるとされています。

・神経と血管の位置関係は個人差が非常に大きく、特に肘や手首の血管の近くには比較的太い神経が走っている場合があります。私たちはこれらの神経を誤って傷つけないよう最大限の注意を払っておりますが、100%防止することはできません。

・ただし、通常の採血では太い神経の断裂などの可能性は低く、損傷は軽度で症状は軽く一時的な場合がほとんどです。

➡ 針を刺した場所の一瞬の「チクッ」とした痛みとは別に、手の指先に痛みやしびれ感などが走ったり、我慢できないような痛みを感じた時はお申し出ください

■上記の合併症も含めてご心配・ご不明なことがございましたら
採血室あるいは主治医までお申し出ください。

